

令和6年度自己評価表 (当初)

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標		実績値	目標値		評価 (自己評価の結果)	改善策
						令和5年度	令和6年度	令和7年度		
確かな学力	他者と協働し、主体的に学び続ける。	学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中やすきま時間を使って、習熟のドリル等に取り組みさせる。 ○発達段階に応じた説明課題に取り組みさせる。 ○選択制家庭学習に取り組みさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○江田島市学力調査全国平均点との比較 ○学期末テストの平均点 国語 読解力 (思考・判断・表現) 言葉、漢字 (知識・技能) 算数 (思・判・表) 算数 (知・技) 		国 99.5 算 103.4 国(思) 89.0 国(知) 86.9 算(思) 81.3 算(知) 88.9	国 101 算 103 国(思) 85 国(知) 85 算(思) 81 算(知) 87	国 101 算 103 国(思) 85 国(知) 85 算(思) 81 算(知) 87		
		授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○自学と協働的な学びを組み合わせた授業づくりに取り組む。 ○児童が見通しをもって学習を進められるように児童自身が学び方や学びの進み具合についての振り返りを1時間の授業に位置付ける。 ○教材研究と児童への働きかけについての研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自律的な学習意欲に関する意識調査(4年以上)(2回:4月と1月) ② 学習行動調整力についての意識調査(3年以上)(2回:4月と1月) ③ 教員の見取りと働きかけ力のチェックシートによる振り返り 		①同一化的レベル 10.6 ②自律項目(9) 3.20 協働項目(3) 3.50 見通し項目(1)(2) 自己選択(7)の平均 3.0 ③ 3.7	維持 上昇 上昇	維持 上昇 上昇		
豊かな心	自らを律し、他人を思いやり、夢や目標に挑戦する。	自己有用感・レジリエンスの育成	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育の充実 ・道徳教育推進リーダーを中心として中学校と連携した道徳の授業を行う。 ・行事前に学校の重点項目「思いやり・感謝」「希望と勇気、努力」「親切」の教材を行い、行事と関連させて授業を行う。 ○相互の認め合い、評価により自信をもたせる取組の推進 ・児童の実態に応じて、各学年で相互の認め合いができる取組を行う。 ○豊かな体験活動の推進 ・全学年で学期に一回以上体験活動を行う。 ○個の実態に応じた支援、指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の肯定的評価の割合(アンケート) レジリエンス ○児童の肯定的評価の割合(アンケート) 自己有用感 ○教員アンケートによる達成率(実施回数/クラス数) ○不登校の報告件数 ○昨年度との比較 	89% 87% 1名	90% 96% 87% 0名	91% 97% 88% 0名			
		社会性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○生活目標の取組を徹底する。(あいさつ、返事・時間目までに静かに集合・黙って掃除、言葉遣い) ・月ごとに目標を設定し、毎月児童に自己評価させる。 ・全職員で随時、全児童の評価を行う。 ・学期ごとにあいさつについて相互評価させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師と児童の見取りによる達成率 あいさつ、返事 時間までに静かに集合 黙って掃除 きれいに整頓 言葉遣い 	94.3% 89.6% 93.5% 93.7%	93% 92% 89% 93%	94% 93% 90% 94%			
健やかな体	自己管理能力を高め、主体的に自らの健康や体力の向上を図る。	健康で自律した生活習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○学活・保健朝会・ミニ保健指導において、メディアコントロールを中心とした保健指導を5回以上実施し、早起きの定着を図る。 ○年3回生活リズムウィークを設定して生活リズムチェックを実施し、課題のある児童の個別指導や事前指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活リズムチェックにおける「早寝・早起き・朝ごはん」の3項目の内、「早起き」項目の全児童合計達成率 一人:5日間=5p 全校児童158人×5p=790p 実施期間5日の内、3日以上達成できたら「達成」として数える。 	78.5%	79%	79.5%			
		体力・運動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○体力の向上をめざし、ドリル運動等を組み込んだ授業改善、外遊び及び全学年の体力向上運動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○50m走において、体力・運動能力調査の全国平均を上回る児童の割合。 ○2分間走において、各学年で設定した目標値達成の割合 	67.9% 達成できた学年数 3学年	69% 達成できた学年数 4学年	70% 達成できた学年数 5学年			
信頼される学校	積極的に情報を発信し、地域・保護者との連携を図る。	地域・保護者との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標の具現化に向けた取組や児童の状況をタイムリーに通信やHPを通して積極的に発信することで、学校満足度を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○『学校通信』や『学級通信』等で、児童の様子や学校の取組がよく分かる。」「大古小学校の現状に満足している。」の項目に対する肯定的回答の割合 	98% 97%	95%以上 95%以上	95%以上 95%以上			
		働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ボトムアップによる業務改善を積極的に行い、ウェルビーイングな職場環境を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間外勤務時間月平均45時間以上の人数 	3人	0人	0人			